

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年2月5日
事業名	図書資料整備事業	担当課・係名	生涯学習課図書館
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	4
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要					
目的 (何のために)	町民の多様なニーズに応えるため図書館資料の整備をする。				
対象 (誰を・何を)	図書館利用者				
内容	一般書・児童書・郷土資料・雑誌・CD等の図書館資料の選定、購入、受入等の図書館資料の管理を行う。				
根拠法令・条例等	図書館法・大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例・大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例施行規則				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	9,310	9,341	9,312
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	9,310	9,341	9,312
	職員人数 (概算職員数)	人			0.45
	人件費計 (b)	千円			2,567
総事業費 (a)+(b)	千円	9,310	9,341	11,879	
事業費内訳 H 25 年度	本館・分館用一般書・児童書・雑誌・CD等購入 9,000千円・一般参考図書 300千円等				

3. 指標値の推移					
各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 町人口 (10.1現在)	人	32,998	32,748	32,526
	② 町世帯数 (10.1現在)	世帯	12,541	12,617	12,610
活動指標 (活動量)	① 蔵書数	冊	225,452	226,459	227,000
	② 購入冊数	冊	5,230	4,315	4,350
成果指標 (達成度等)	① 人口1人当たり蔵書数	冊/人	6.8	6.9	7.0
	② 世帯当たり購入数	冊/世帯	0.42	0.34	0.34

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	資料の選定には図書館の資料構成を熟知している必要があり、町が主体は妥当である。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	図書館職員による選定会議の実施は、利用者のニーズや図書館の資料構成を熟知しており手段は妥当である。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	資料選定では一般書・児童書・絵本等、多岐にわたる分野での知識の豊富さを生かし、成果が得られている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	選定会議において、資料選定は厳選している。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	資料整備事業のため多くの資料を購入することが必要なため、コスト削減の余地はない。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 必要な本を選定会議を開催し厳選している。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	限られた予算の中で最大限の効果を発揮できるような資料選定に努める。
② 平成26年度に着手する事項	図書館資料を厳選して選定する。
③ その他（課題、調整事項等）	なし

6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

利用者の多様なニーズに応え、質の高い資料提供に努める。
